

目的 Objective

- 大学や研究機関、企業が高度に連携・協働し、各組織や機関が有する教育リソース（教員、カリキュラム、実験・実習プログラム、原子炉などの実験施設・装置など）を相互補完することで、一体的な人材育成を推進します。
- 国際機関や海外大学との密接な連携を通じて、各国の先端研究の息吹に触れ、広い視野と多様な価値観の修養を促す機会を提供します。
- 興味と関心に応える開かれた教育により、“総合工学”としての原子力の魅力と可能性を広く伝えていきます。

教育内容 Education Contents

1. 構成機関の相互補完によって高度化された体系的な専門教育カリキュラム

- 原子力に関する主要な基礎・基盤科目
- 各大学で開講されている講義の内容を共有
- 講義資料のオンライン化・オープン化による時間と場所を選ばない学習
- 社会人向けリカレント教育

2. 原子力施設や大型実験施設等を使った実験・実習

- 原子力施設や大型実験施設の効果的・効率的な共同利用・実験実習
- 電源立地地域での学生の就業体験（インターンシップ）

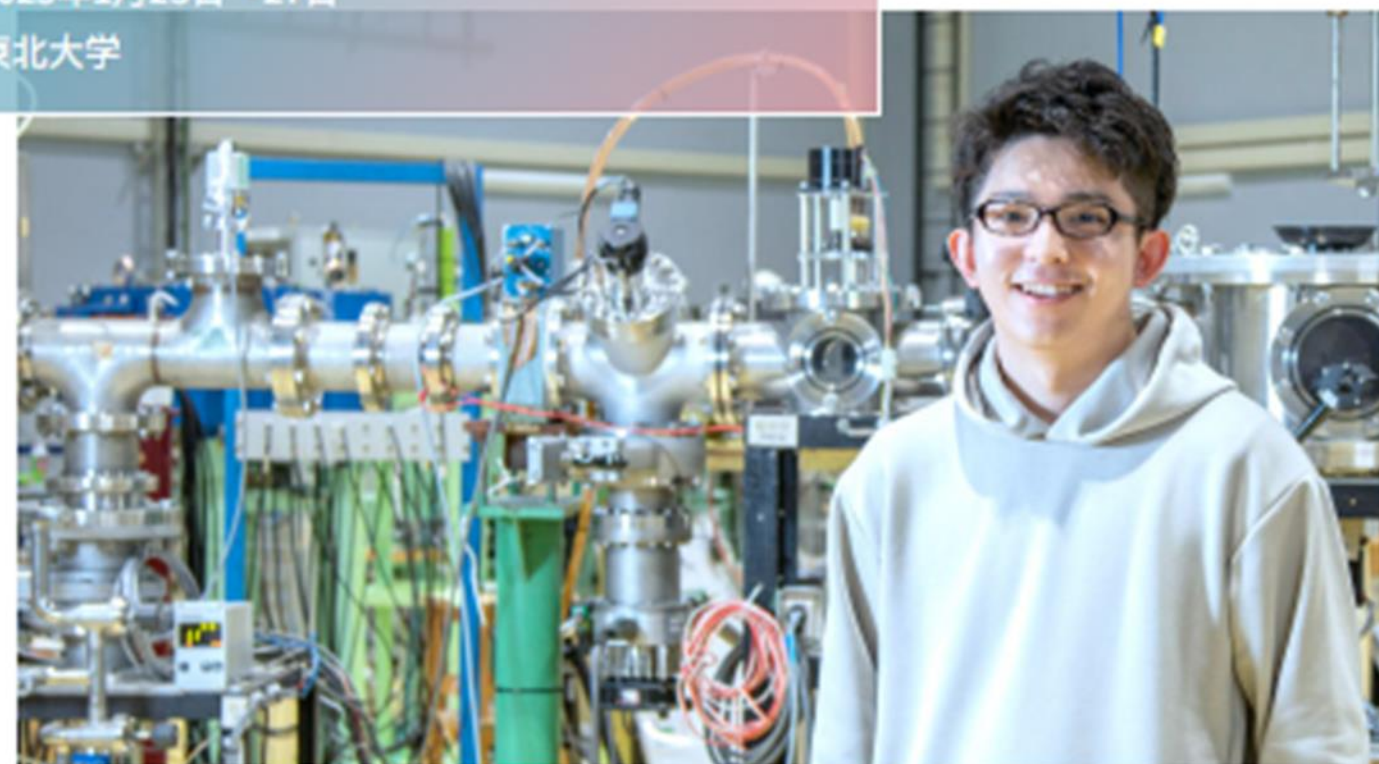


実習体験インタビュー
Practical Training Experience Interview

机上から実践へ。ANECでは、全国にある原子力関連の教育施設・装置を利用し、学生の皆さんを対象とした各種実習を展開しています。
ここでの見聞と体験を、確かな知識・知見に実らせた参加者たちの言葉をお届けします。

01 実験原子力総合実習

2023年1月23日～27日
東北大学



02 中性子照射済み材料実習

2022年8月1日～5日
東北大学金属材料研究所大洗センター



03 原子炉実習基礎コース

2022年8月26日
近畿大学原子力研究所



04 原子力イノベーション留学 SANI2023

2023年9月～12月
テキサスA&M大学



3. 国際機関や海外の大学との組織的連携による国際研鑽機会

- 短期留学、国際リーダー育成に資する合宿形式のワークショップ
- 同じ志を持つ学生等の交流によるグローバルな人的ネットワークの構築

4. 産業界や他分野との連携・融合

- 産業界からの外部講師による実践的な講義
- 人文・社会科学分野をはじめとする多様な分野と原子力のかかわりに関する科目

キャリアパス Career Path

Career interview
キャリアインタビュー

研修やインターン、 すべての機会を学び・研究につなげていく。

現在、私が勤務する「幌延深地層研究センター（北海道天塩郡幌延町）」は、高レベル放射性廃棄物の地層処分にかかわる技術的な信頼性・安全性に関する研究・開発を行っている施設です。実際に地下350メートルの地点に調査坑道を掘削し（最終的な深度は500メートルを計画）、人工バリアの適用性や性能の確認、また地層中の物質移動などを計測・評価する技術の確立を目指しています。地域の方々の理解と協力を基に運営されており、情報公開による透明性の確保には最大限の努力が払われています。

大学院在学中は、ANEC(未来社会に向けた先進的原子力教育コンソーシアム)事業を通じて、さまざまな原子力施設、大学・研究機関での研修や見聞の機会を得ました。もちろん幌延深地層研究センターもその一つです。多くの経験は、知見を養うことにつながりましたし、研究のアイデアをもたらしてくれました。まさに“Experience is the best teacher.”です。また、タイ出身の私にとって、研究者ネットワークを築く貴重な機会となりました。

目下の目標は、日本語のブラッシュアップです。本センター地下坑道での作業や実験では、さまざまなバックグラウンドを持つ方たちと共に行動します。日本語でのコミュニケーションが中心なので、もっと勉強しなくてはと思っています。そして、何となく論文をリリースすること。4年以内の博士号取得を目指しています。

年間平均気温29℃のタイから、年間の平均気温5.8℃、11月下旬から4月上旬まで積雪があるという幌延へ。今年、初めて過ごす冬ですが、周囲の人たちの心の温かさに元気づけられながら、北の大地で、一步一步、研究への確かな歩みを刻んでいきたいと思っています。

